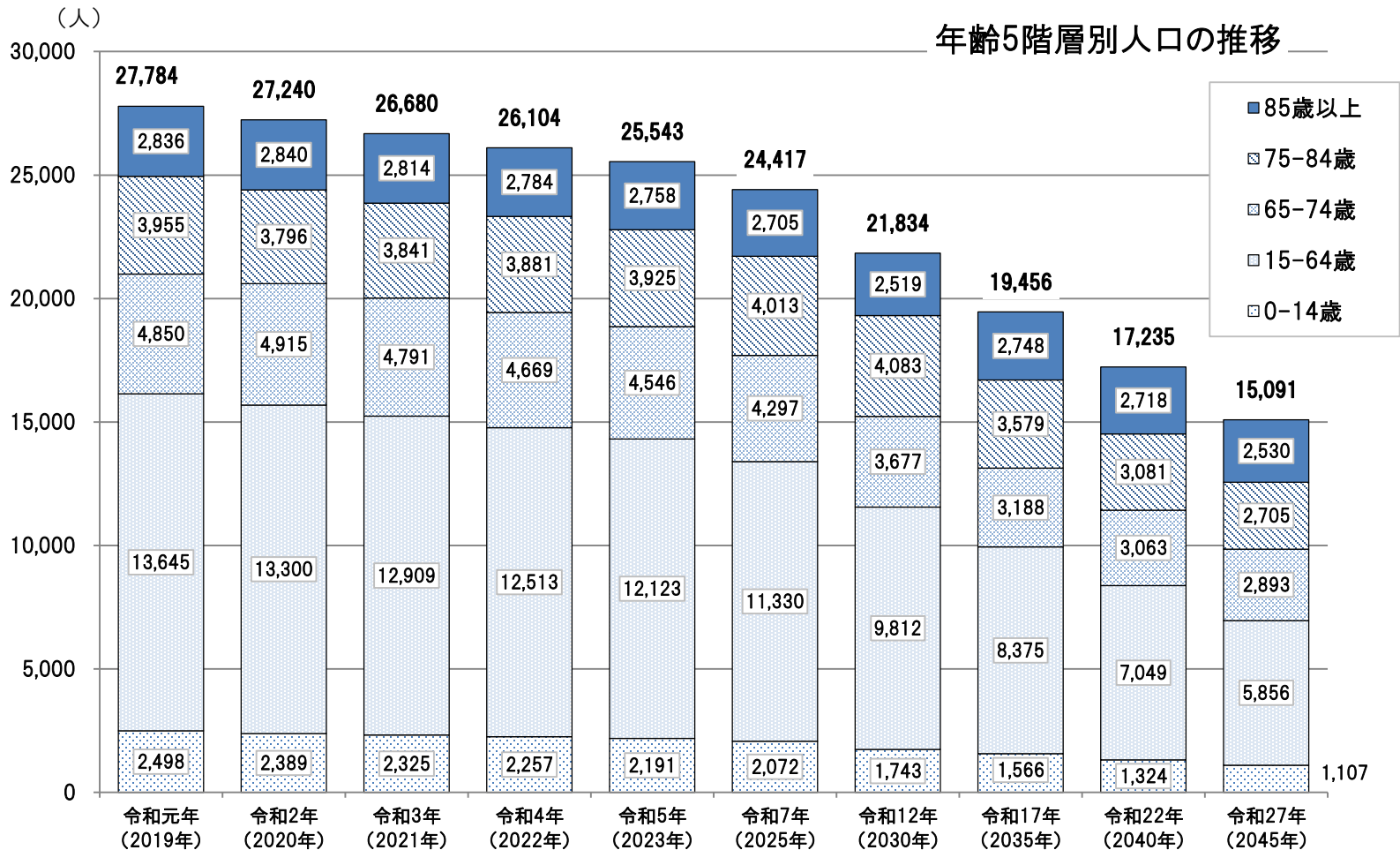


令和3年度

国東市地域包括支援センター運営協議会

資料

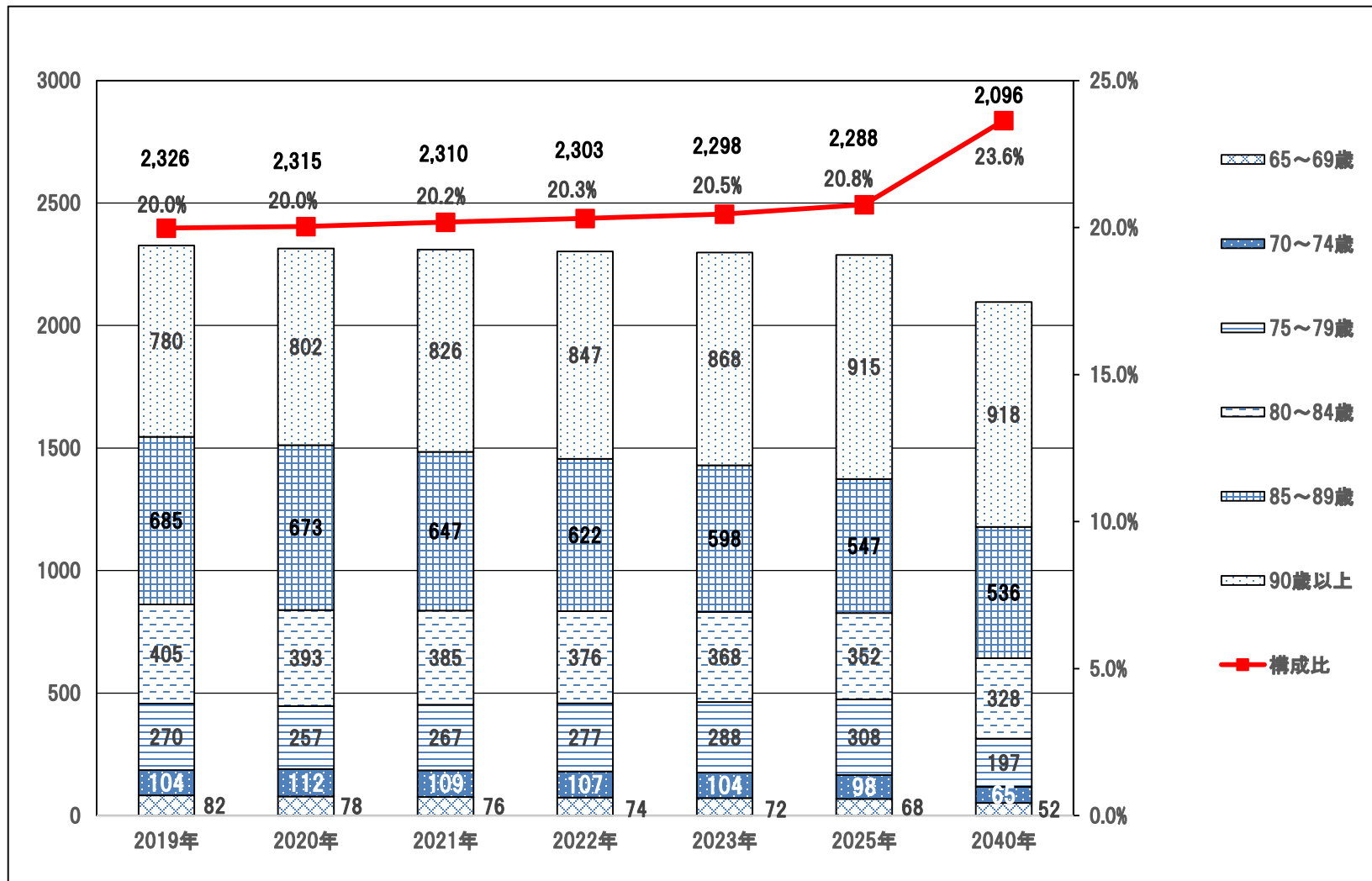
国東市の総人口は右肩下がりで推移することとなり、総人口の減少に伴って高齢者人口も減少していきます。高齢者人口の内訳をみると、令和2年度以降前期高齢者(65～74歳)は減少傾向になります。後期高齢者人口(75歳以上)は、令和2年から令和7年までゆるやかに増加していき、令和12(2030)年以降は減少していきます。



※令和2年9月末現在住民基本台帳による
 ※令和3年～27年人口は、令和2年9月末人口を基に国勢調査時の生残率、移動率で推計

認知症高齢者数は令和2(2020)年に2,315人で高齢者人口の20.0%、令和22(2040)年には2,096人で認知症高齢者数は減少しますが、高齢者人口に占める割合は23.6%に増加すると推計されています。

年齢階層別認知症有病者数の推計



資料：人口推計を基に認知症有病率(厚生労働省認知症対策総合研究事業(H25.3月報告))で推計

地域ケア会議の開催状況【H30～R2年度】

- ☞ 毎週木曜日午後1時30分～3時30分 1事例30分程度（3事例）
- ☞ 検討ケース 介護プラン（要介護1・2）・介護予防プラン・介護予防ケアマネジメントプラン・住宅改修・福祉用具
 - ・例外的給付・短期入所の長期利用・厚労省の定める回数以上の生活援助中心型訪問介護・困難事例

地域ケア会議での事例検討後の状況		H30		R元		R2	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
事業対象者～要介護1までの事後	検討事例数	100	100%	93	100%	75	100%
	改善	20	20.00%	16	17.20%	17	22.67%
	維持	29	29.00%	49	52.69%	28	37.33%
	悪化	47	47.00%	27	29.03%	13	17.33%
	死亡	3	3.00%	1	1.08%	3	4.00%
	転出	1	1.00%	0	0.00%	0	0.00%
	入院	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	更新申請中 更新未到来	0 0	0.00% 0.00%	0 0	0.00% 0.00%	4 10	5.33% 13.33%
うち、介護予防・生活支援サービス 利用者における事後	改善	8		5		5	
	維持	16		9		6	
	悪化	7		6		2	
	その他	1		4		4	
うち、介護予防サービス 利用者における事後	改善	10		7		8	
	維持	12		26		12	
	悪化	9		15		4	
	その他	2		4		4	

○R元年度との割合を比較すると、改善は5.47ポイント上昇し、悪化は11.70ポイント低下。

○改善17名の状況：

- ・2名がサービス終了（「生活機能向上型特化型デイサービス」の利用後終了1名、住宅改修施工後終了1名）。いずれも一般介護予防事業（いきいきセルフ教室）に移行。
- ・7名が手術または生活不活発による筋力低下後に、住宅改修や福祉用具購入・貸与等の環境整備を行い、通所系サービスや訪問リハビリを一定期間行うことで改善に向かった。

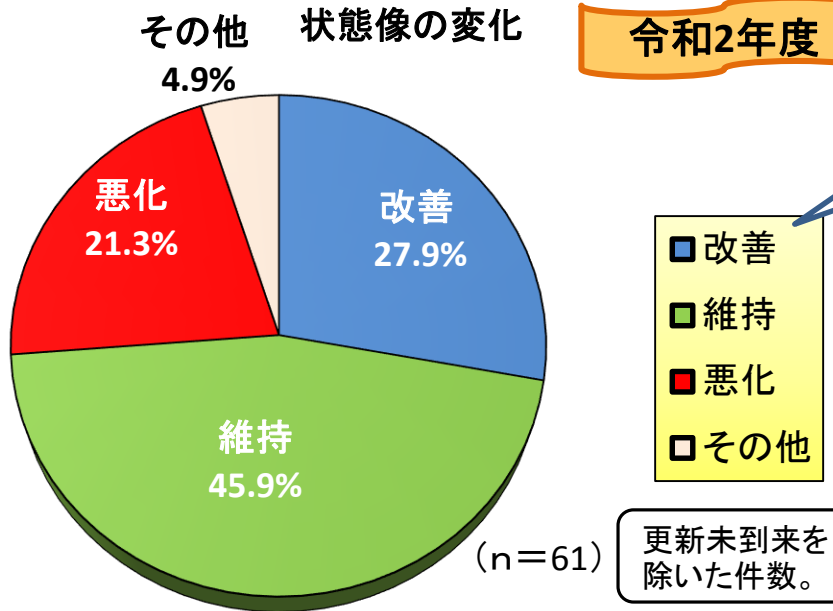
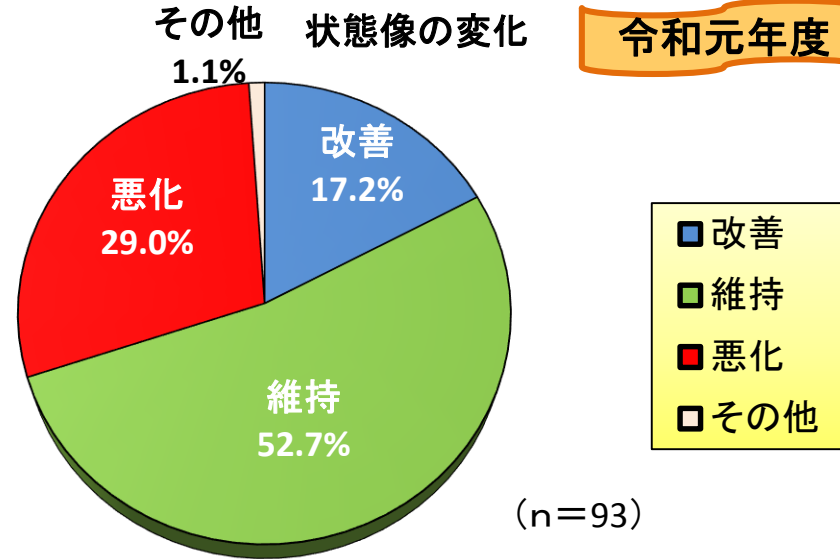
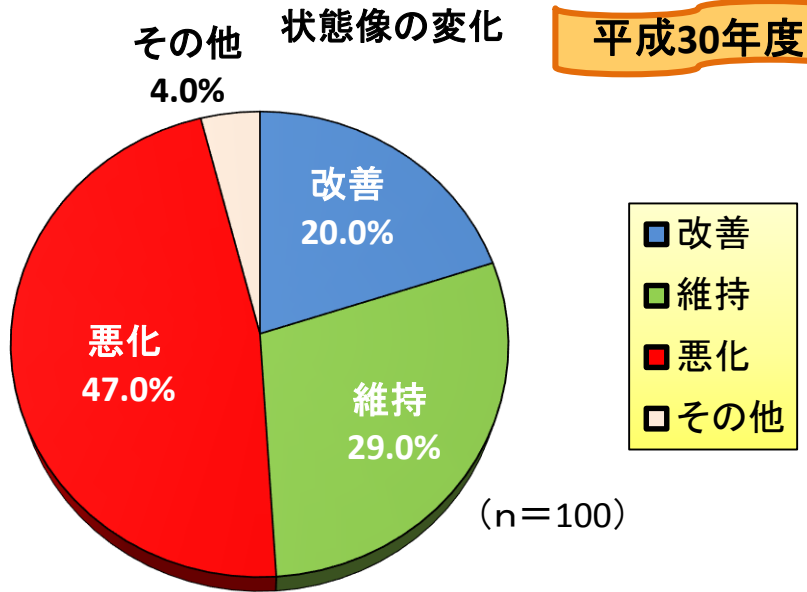
○悪化13名の状況：

- ・7名は要介護認定者。
- ・悪化者の抱える上位3疾患は、認知機能低下：4名、脳血管疾患：4名、関節系疾患：3名（重複者あり）。重症化予防が重要であるため、より早い介入が必要。

※「改善」とは、ケア会議後の更新で要介護度が下がったことを指す。

介護予防・生活支援サービス別状況	H30				R元				R2			
	改善	維持	悪化	その他	改善	維持	悪化	その他	改善	維持	悪化	その他
通所：予防型	1	2	1							1		1
通所：生活機能向上特化型	5	6	1		5	4	2	2	1	2		
通所：自立生活支援型	1	3	1	1		4	4	2	4	1	1	1
通所：予防型、訪問：自立支援型			1							1		
通所：予防型、訪問：生活機能向上型												
通所：自立支援型、訪問：自立支援型												
通所：自立支援型、訪問：生活機能向上型		1	1									
通所：生活機能向上特化型、訪問：自立支援型		1										
訪問：生活機能向上型		1				1					1	2
訪問：自立支援型	1	2	2							1		
計	8	16	7	1	5	9	6	4	5	6	2	4

地域ケア会議で検討した状態像の変化



R2年度分より、要支援者については、ケア会議後の個別ケア評価会議で状態の改善がみられた場合は「改善」とみなしている。

地域ケア会議 参加者数

	市(保険者)	地域包括	専門職	保健所	事業者	その他	計
平成30年度	68	352	135	8	190	127	880
令和元年度	63	280	107	6	173	79	708
令和2年度	54	165	88	2	132	9	450

R2年度在宅医療・介護連携相談窓口実績報告

(R2年4月1日～R3年3月31日)

①相談件数 90件

②相談機関 市内

	件数
包括内・市職員	36
居宅介護支援専門員	20
医療機関	9
介護関係	3
障がい者相談員	4
市民	15
合計	87

市外

	件数
医療機関	3
介護関係	
包括支援センター	
合計	3

③依頼方法

	件数
庁内経由(再掲含む)	36
電話	45
訪問時	5
FAX・メール	0
来庁	4
計	90

④連携機関

	件数
包括内・市職員	11
居宅介護支援専門員	5
市内医療機関	52
市内介護関係	7
市外医療機関・介護関係	8
障がい者相談員	5
市民	30
その他	4
計	121

⑤相談内容

相談項目	件数	内容と対応
医療に関すること	39	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科疾患既往者の精神状態の悪化⇒救急情報センター及び大分県立病院精神医療センターとの連携 ・精神科受診時の対応について ・介護保険更新時の主治医意見書依頼医師について ・市外医療機関でフォロー中の難病患者の市内医療機関での医療リハ依頼 ・市内外医療機関への情報提供や問い合わせ ・受診勧奨や調整
サービス利用に関すること	30	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の申請 ・サービスの追加 ・サービス利用拒否者への同行訪問
介護・日常生活に関する	9	
入・退院に関すること	10	<ul style="list-style-type: none"> ・癌末期・困難事例に対するの支援 ・かかりつけ病院以外での入院支援
入所に関すること	7	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者相談員からの介護保険施設への入所依頼 ・慢性呼吸不全患者の家族支援として、ショート受け入れのためのNIPPV取り扱い勉強会
認知症に関すること	6	<ul style="list-style-type: none"> ・重度の認知症者の家族疲弊支援⇒入所 ・認知症の見守り支援事業について認知症地域支援員による勉強会
看取りに関すること	0	
連携に関すること	4	<ul style="list-style-type: none"> ・入院先と在宅栄養士の情報共有 ・血液透析室担当者とケアマネの情報共有 ・くにさき地域包括多職種連携マニュアルを活用しての入所依頼
苦情・クレーム	5	<ul style="list-style-type: none"> ・通所職員の不祥事への対応 ・病院職員の電話対応について ・病院職員の支所職員への対応依頼について
その他	3	<ul style="list-style-type: none"> ・通所の体制整備 ・職場環境について
合計	113	